

ことり新聞

February
2024.2.9

Vol.129

伊藤 看護部長

ホスピタリティ・マインドを育てよう！



ホスピタリティ・マインドの養成に大きな力を発揮するのは、**感性**の部分です。患者様が今何を感じているのかを察し、患者様が口にださないことまで察していく感性があれば、かなり質の高いホスピタリティを提供できるだろうと思います。そのためには、すばらしい芸術に触れたり、好きなことに没頭したり、いろんな人と触れ合ったりして、**常日頃から、感性を磨いていくことが大切**です。

ホスピタリティを実践する目標の一つに「お客様に**感動サービス**を提供すること」があります。お客様に喜びや感動を提供することができると、それはブーメランのように、必ず自分のところに戻ってきます。予想を超えたサービスを提供したときに、お客様がものすごく喜んでくれる様子を目の当たりにすれば、こちらのほうも、つい嬉しくなってくるものです。「少し手間がかかったけど、ああやってよかった」という気持ちになります。そのうえ、お客様から心を込めて「ありがとう」と言ってくれたり、お客様との心のふれあいができたりしたときには、「本当にこの仕事をしてよかった」と思ってくるはず。それこそが、**自分の関わる仕事の充実感**につながってくると思います。

看護師一人ひとりが**ホスピタリティ・マインド**を持って、患者様・ご家族に喜んでいただける看護を提供してきましょう！

2月研修

- 14日 法人介護職「実践報告会」
- 20日 新人「振り返り発表」
- 21日 法人医療安全対策研修
- 22日 長期研修伝達講習会
- 27～29日 人工呼吸器
- 29日 法人新人「メンタルヘルス」
臨地実習指導者育成

2月行事

- 1/29～8日 大阪医療看護専門学校実習
- 1/30～16日 大阪青山大学実習
- 16・29日 インターンシップ受け入れ
- 27～3/7日 梅花大学実習

寒暖差の激しい日々です。皆さん健康管理にはお気を付けください。

卒後1年目ケーススタディ発表会

新人教育 東3階看護師長



1月23日、卒後1年目研修「院内ケーススタディ発表会」が開催されました。

新人看護師が、一人の患者さんの看護実践を振り返り、理論と照らし合わせて文章に可視化していきました。最初は、「自分にできる気がしません」・「どうやってやっていったら良いですかね・・・」と不安の声もきかれましたが、先輩看護師の指導や助言を受けながら、新人看護師全員が取り組むことができました。

『何か月もかけて取り組んできたことを、A4用紙2枚にまとめ上げ5分で発表する。』

その過程で、新人看護師の看護観が育まれたことを感じました。

ご指導していただいた病棟スタッフの皆様に深く感謝いたします。



法人看護部教育

キャリア開発委員 西5階看護師長

法人看護部教育では看護師の臨床実践能力の向上を目的として研修を企画しています。2023年8月にクリニカルラダーステージⅢの認定申請を目標とする看護師41名を対象に、シンポジストの語る実体験を聴講する形式により研修を開催しました。

急性・重症患者看護専門看護師からは、救命救急の場面での難しい意思決定をどのようにすすめていくのか、訪問看護認定看護師・認知症看護認定看護師・緩和ケア認定看護師からは現場の様々な事例を通して医師や患者・家族との具体的なコミュニケーション方法を学びました。

そして、研修で得た知識をもとに2024年1月に「実践報告会」を開催しました。千里中央病院からは7名の方に参加いただきました。それぞれの実践報告には、患者の意思を尊重した暖かいケアがたくさんありました。意思決定を支えるタイミングの難しさ、病状変化、いつもと違うサインを見逃さない、データや画像からみる予後予測には多職種連携が必要など

「意思決定を支える力を磨く」ためのキーワードが溢れていました。意思決定支援は日々、日常に溢れています。患者・家族を中心とした意思決定が支援できるように私たち看護師の学びを皆で深めていきましょう。



12月 新規褥瘡発生 9人

(1月褥瘡予防対策委員会より)